

うらわ宿文芸

くらわだしい

前川氏の証人喚問拒否
正々堂々ではないなあ

——相撲ファン
(前地 さぶ老)

安倍首相へ
私を利用するな

——オリンピック
(岸町 佐久間純)

川柳

それ国防！キム様さまの安倍連隊
学び舎が付度ご意向で浮き沈み
省庁は住む妖怪に付度し

(前地 さぶ老)

読売の宣伝マンだ安倍総理
完全に与党になった維新の会
幕引きをしたいアナタも幕引きだ

(岸町 だん吉)

俳句

気に入りの薄着や梅雨の絵画展
風薫る得意満面逆上がり
立話尽きぬ話題や額紫陽花

(前地 S・M)

靴紐のまっ白五月来たりけり
初夏のひかりを宿す神獣鏡
薫風や二間つづきを明け放ち

(本太一 Y・Y)

◆ドキュメンタリー映画

「不思議なクニの憲法」上映会

6月14日(水) 18時半

浦和コミセン10階第6集会室

参加費大人700円 高校生以下無料

主催 「不思議なクニの憲法」浦和リレー上映
実行委員会

後援 オール浦和区の会/浦和北九条の会

連絡先 針谷・090(9812)4337

◆講演会「子どもの成長と絵本・物語」

7月23日(日) 14時~16時(受付13時半)

さいたま市民会館うらわ705・706集会室

講師 斎藤惇夫氏(児童文学作家・幼稚園園長)

参加費600円

共催 「子どもの本の散歩道」「オール浦和区の会」

連絡先 川崎・090(4169)2813

吉田・090(2209)7673

◆パジャール会中村哲医師講演会

戦乱と干ばつのアフガンから「平和を考える」

8月25日(金) 18時~

埼玉会館大ホール

参加費1000円

主催 「中村哲講演会実行委員会」

連絡先 九条の会さいたま048(834)1298



風刺のきいたプラスターを5・29屋デモで見つけました。「もり」も「かけ」も安倍の傍(そば)には疑惑がいつぱい、と書かれていました。

耳より情報

《日々想》

関東平野に聳える筑波山は西の富士、東の筑波と並び称されるほどの名山、百名山でも低い。霞ヶ浦を挟んで県東からの眺めは素晴らしい。県北には三名瀑の『四段の滝、袋田』があり、水戸には梅の偕楽園がある。太平洋沿岸の北の、鶴の岬は超人気の国民宿舎で、長良川の鶴飼いはこの地で捕獲された鶴である。奈良公園の鹿は鹿島神宮の出身だ。茨城は他県に劣らず観光資源は豊富だ。産業は農業であるが、先端技術の筑波学園都市は県央にある。話題に事欠かないのに、なぜか都道府県の魅力度は最下位の四七位だ。昨今の相撲人気、横綱・稀勢の里、新大関・高安の二人に絞って、四七位の汚名返上をしたいものだ。(幹)

うらわ宿

日本共産党

日本共産党浦和区後援会ニュース
2017年6月号・No.72
浦和区北浦和3-14-16
TEL/FAX 048-833-4515
***** (部内資料) *****

「安保関連法」廃止！集团的自衛権行使容認「閣議決定」撤回を求めるオール埼玉総行動実行委員会は6月4日さいたま市の北浦和公園で集会を開き、1万3200人が参加しました。集会終了後は2コースに分かれてパレード。参加者は「戦争させない、憲法守れ」と唱和しました。集会の一部を紹介します。

最初に実行委員長の小出重義氏から「現在までの短期間で、埼玉県15区全部で連絡会が結成された。全小選挙区に共闘組織ができたのは全国初だ」と紹介がありました。次に山下茂氏(埼玉弁護士



中央舞台では連合、全労連、4野党、主催者代表が勢揃い！という光景を持續し上げたものだ

安倍政権に負けない草の根民主主義を埼玉から全国に広げよう！！

6.4 オール埼玉総行動に1万3200人が結集

会会長)からは「憲法のお陰で戦争もなく自由に生きてきた。これを孫の代まで残したい」。佐藤道明氏(連合埼玉事務局長)は「安倍政権は暴走したまま。『共謀罪』が成立したら、真っ先に適用されるのは安倍首相ではないか」と発言。穴戸出氏(埼玉連事務局長)は「民主党政権時代にできた高校の授業料無償化に、所得制限を導入したのは自民政権ではないか」と訴えました。

続いて4野党から最初に発言に立った枝野幸男氏(民進党)は「法治国家、立憲主義を守る。これこそがみんなで実現していかなくてはいけない。小異を残してでも大同につきがばっていこう」と語りました。続いて、小池晃氏(日本共産党)は「安倍政権のモ

ラル崩壊は目に余る。憲法9条改悪や『共謀罪』を絶対に阻止する。一番の力は市民と野党の共闘だ」と力説。福島みずほ氏(社会民主党)は「『共謀罪』は現代の治安維持法ではないか。『共謀罪』廃案のために、みんなで連帯して4回目の廃案を勝ち取ろう」と訴えました。青木愛氏(自由党)からは「『共謀罪』は心の自由、表現の自由が奪われる。特定秘密保護法、安保関連法に続いて『共謀罪』が総仕上げとなる」との指摘がありました。

最後の伊藤千尋氏(国際ジャーナリスト)からのゲストスピーチでは、アメリカや韓国そして3月



浦和区からも多くの市民、後援会員が参加した

に沖縄宮古島で自衛隊駐屯地の誘致を白紙撤回させた地元9条の会の女性の行動などをあげ、「大切なのはあきらめないこと。社会を平和にしていく活動、日本に民主主義をとりもどす行動を誇りをもってすすめよう」との訴えがされ、大きな歓声に包まれました。

(阿久津)

市長選挙後初の議会、六月議会が始まります

さいたま市議会議員 とりうみ敏行

後援会の皆さん、「うらわ宿」読者の皆さん、こんにちは。

市長選挙で「あったか先生」前島ひでお候補は、得票数五三、九七一票を獲得し、前回比二・二倍、得票率は一六・八%を獲得し、善戦・健闘しました。皆様のご支援に心から御礼申し上げます。

再選された清水隼人市長は、前回までの「市民党」をかなぐり捨てて、自民政、民進改革、自主投票と言われている公明などの支援を受けて三選を果たしました。まさにさいたま市議会は、日本共産党以外のオール与党化の下で議会が進みます。

清水市長は、初当選時の「箱もの一掃」公約も投げ捨てて、大型開発とイベント中心の行財政運営を今後も続けることを選挙後の記者会見で宣言しています。こうした結果を受けていよいよ六月議会が七日から三〇日までの予定で開かれます。

日本共産党市議団は、新たな体制を組んで清水隼人市政三期目に挑みます。新年度の日本共産党市議団の常任委

員会担当は次の通りです。

《総合政策委員会》

神田よしゆき(幹事長)

大木学

《文教委員会》

守屋千津子

松村としお

《市民生活委員会》

山崎章(団長)

戸島よし子(副団長)

久保みき

《まちづくり委員会》

とりうみ敏行(副団長)

《議会運営委員会》

神田よしゆき

松村としお

※各種特別委員会・審議会委員は未定

予算・一般・特別会計決算・企業会計決算委員会は、後日お知らせいたします。

六月議会での代表質問は、戸島よし子議員、一般質問は、久保みき議員が行います。皆さんの傍聴をお願いいたします。

「不思議なクニの憲法」を観て

この映画は、安保関連法案(戦争法案)に反対する国民的運動を市民目線で追いかけて、憲法の基本的人権を歴史的事実とともに解明しています。「参院選で改憲与党が3分の2以上の議席を獲得して、憲法改正問題の重要性がますます加速しています。いずれ予測される国民投票に向けて、憲法問題を私たち一人ひとりが自分で判断できるようになるために、本映画を観て議論する場を持って下さい」、これはこの映画の松井久子監督からのお願いになっています。

安倍首相は、「2020年を新しい憲法が施行される年にし



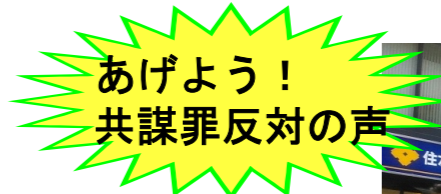
松井久子監督と出演の瀬戸内寂聴さん

たい」と改憲の目標時期まで表明しました。こんな状況にある現在、この映画は「憲法って私たちにとって何なんだろう」と考えるに絶好の情報をわかりやすい内容と映像で提供しています。私はこの映画を観て、戦後の日本国憲法が、女性の人権を封建的家族制度から解放したことを改めて感じました。憲法第12条に「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保

持しなければならない」と規定されていますが、こんなことを自覚したのは、恥ずかしながら戦争法案反対運動に参加してからです。現実と憲法が大きく食い違う中であって、どう考えたらよいのか、特に自衛隊と9条規定に関する有識者の異なる意見をどのように考え、来るべき国民投票にどう臨むのか問題提起をしています。

私は最後の字幕の流れとともに朗読される「憲法前文」の崇高な文章に感動しました。多くの皆さんにぜひ観て頂きたいと思います。(領家後援会 針谷)

(注) この映画には、浦和区在住の辻仁美さんご夫妻、そして宮崎絢子さんが出演されています。(編集部)



5月29日埼玉弁護士会主催の「共謀罪反対」昼休みデモには200人以上が参加し、県庁から駅前までデモ行進しました



都議選 今 政治の流れを変える築地市場再整備

目前に迫った都議選。築地市場の豊洲への移転の是非が最大の争点だ。

各党の態度は、自民・公明……いますぐ移転、民進……条件付き移転、共産……移転中止・築地再整備となっているが、「都民ファースト」だけは公約でもダンマリ。小池知事が移転問題を「政争の具」にしているためだが、政党としてはあまりに無責任だ。

さる4月の検査でも、豊洲建物下の地下水から環境基準の100倍のベンゼンが検出された。その結果、豊洲土壌汚染対策専門家会議の平田座長は5月の同会議で「地下を全て環境基準以下にし、無害化することは不可能」と断言した。これは汚染対策の根本問題に関しての都民や都議会に対する重大な約束違反、裏切り・開き直りである。専門家会議の当初の報告では、「建物下の地下もすべて環境基準以下にするから、地上への影響は全くない」として都民の

理解と協力を求めていたのだ。この一点だけでも移転中止に値するといえよう。

実は移転の是非を判断すべき材料はとっくに揃っていた。それは次の二点である。

◆食の「安全・安心」、食文化・築地ブランドをどう守っていくのか。

都が豊洲での「安全」をいくら宣言したところで、都民・消費者の「不安」は解消されない。なにしろ都民の都に対する信頼が失墜しているのだから。信頼回復は移転中止決断しかありえない。築地ブランドに代わる「豊洲ブランド」など望むべくもない。

◆移転を契機に「卸売市場」を単なる「物流センター」に変質させて良いのか。

市場移転推進者のそもそもの狙いは、規制緩和の徹底、水産仲卸業者つぶし(整理・淘汰)にある。

彼らにとっては「豊洲新市場」が、「卸売市場」としてではなく、「物流センター」として機能すればよいのだ。



日本共産党は、市場移転問題を最大の争点にして都議選を闘おうと呼びかけている。移転中止がその後の都政、国政に与える影響や政治的意義がとてつもなく大きいからだ。

それは消費者の「食の安全・安心」を守り抜いたという点にとどまらない。市場原理主義に基づく規制緩和政策や一部大手企業のための大規模開発・公共事業に待ったをかけ、反原発の闘いその他さまざまな市民・労働者の闘いへの熱い励ましのメッセージでもあるのだ。(浦和区東岸町 T1生)